



最後の卒業生

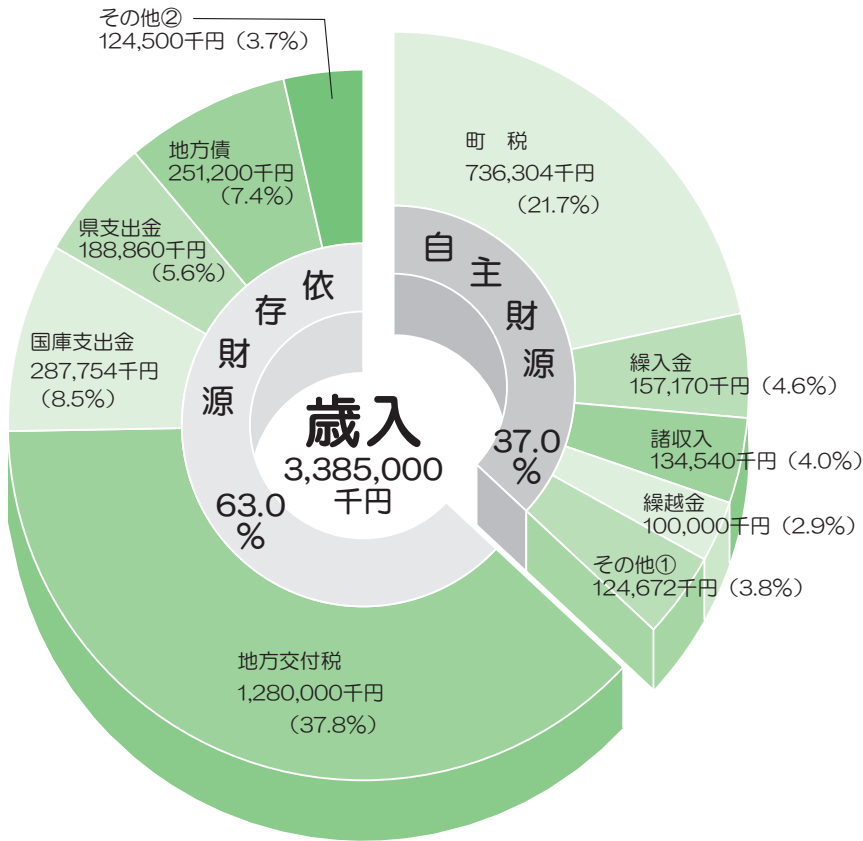
中川小学校で、最後の卒業証書授与式が行なわれました。

(3/19)

効果の期待できる事業に重点配分

平成22年度

予算編成



※その他①…分担金や負担金、使用料や手数料、財産収入、繰入金など
 ※その他②…地方譲与税や地方消費税交付金など

平成22年度会計別予算額 総額 61億3,923万円 (前年比 2.2%増)

一般会計	33億8,500万円
水道事業会計	1億5,957万円
温泉事業会計	6,871万円
町営宿泊施設 伊豆まつざき荘事業会計	4億471万円
国民健康保険特別会計	11億5,579万円
老人保健特別会計	519万円
介護保険特別会計	8億1,695万円
後期高齢者医療特別会計	1億745万円
岩地集落排水事業特別会計	661万円
石部集落排水事業特別会計	605万円
雲見集落排水事業特別会計	2,320万円

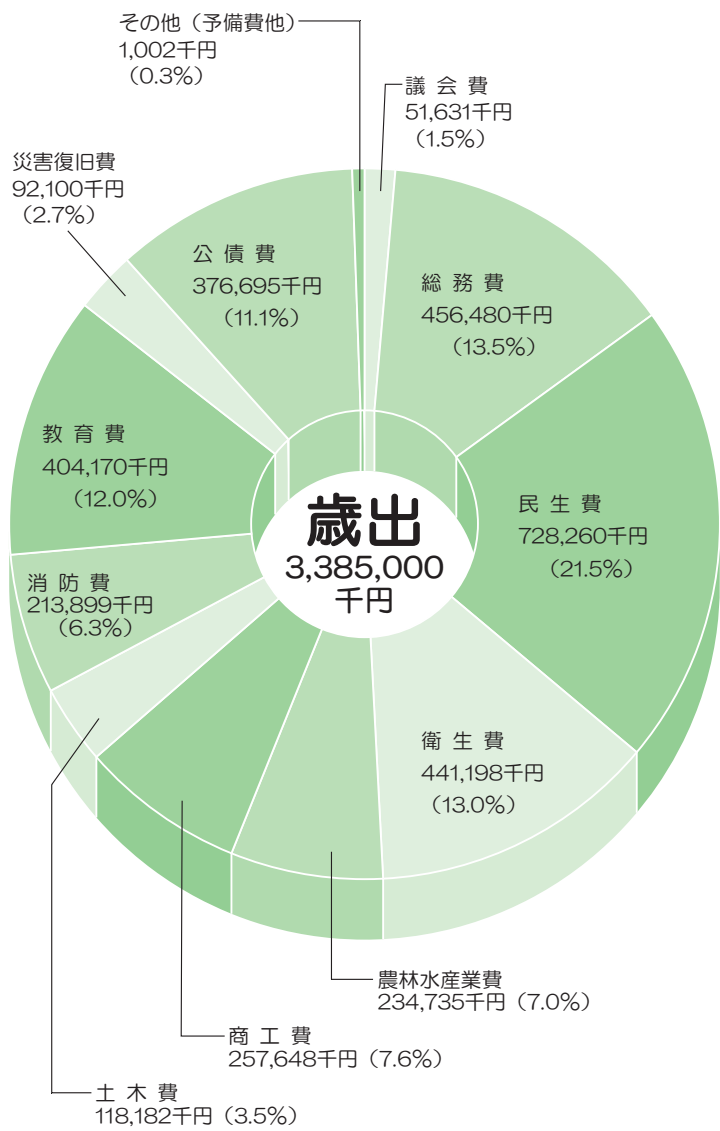
会計ごと表示単位未満を四捨五入したもので、その合計と総額は一致していません。

■ 一般会計の概要

平成22年度は、国が実施する子ども手当制度の創設や昨年の台風被害による漁港施設災害復旧事業の計上により、総額で2億5,800万円(8・3割増)となりましたが、それらを差し引いた実質的な予算額の伸びは9,800万円(3・1割増)となりました。

予算の主な特徴としては、①本年10月に当町で開催される全国棚田サミットへの関係経費を計上②子育て支援策として10月から中学生までの医療費無料化を実施③老朽化が目立ってきた松崎小学校の校舎・体育館と勤労者体育館の大規模改修の実施などが挙げられます。

厳しい経済状況が続く中、財政の健全性を維持しながら、効果の期待できる事業の優先度を十分に検討し、無駄を省いた効率的な予算編成を行いました。



■歳入

自主財源の中で最も大きな割合を占めている町税は、景気低迷による所得の減少を見込むなどして前年度比4・1割減の7億3,600万円となりました。

また繰入金については、松崎小学校大規模改修事業のための財源として文教施設整備基金などから1億5,700万円を取り崩します。

一方、依存財源において歳入全体の約4割を占める地方交付税は、国の地方財政計画や過去の実績を勘案した結果、前年度比4・1割増の12億8,000万円となりました。

また国庫支出金は、子ども手当負担金や漁港施設災害復旧事業費補助金などにより大幅に増え、55・7割増の2億8,800万円となりました。

地方債は消防ポンプ車購入や災害復旧事業など財政支援

のあるものを借り入れるため、14・0割増の2億5,100万円となります。

■歳出

目的別経費の主な増減要因と前年度対比は次のとおりです。()は予算額

●総務費

戸籍電算化業務や財産台帳整備業務の終了などにより、10・7割減となりました。(4億5,600万円)

●民生費

従来と変わらない福祉サービスを確保しましたが、子ども手当や障害者の自立支援給付、医療費助成など社会保障費の増により、7・6割増となりました。(7億2,800万円)

●衛生費

西豆衛生プラント組合への公債費に係る負担金やクリーンピア松崎の修繕、維持管理費の増などにより9・2割増となりました。(4億4,100万円)

●農林水産業費

前年度から引き続き実施している団体営基盤整備促進事業の事業量の減などにより、12・3割減となりました。(2億3,500万円)

●商工費

旧清掃センター跡地公園整備事業の実施や全国棚田サミット関係経費の計上、緊急経済対策融資資金利子補給補助などにより、22・2割増とな

りました。

●土木費

急傾斜地崩壊対策事業負担金や木造住宅耐震補強助成などで増となりましたが、新港湾整備事業が終了したことにより、1・3割減となりました。(1億1,800万円)

●消防費

西伊豆消防組合への負担金増や消防ポンプ車の購入などにより、11・4割増となりました。(2億1,400万円)

●教育費

教育環境の安全・充実を図るため、例年並みの事業費を確保しましたが、松崎小学校や勤労者体育館の大規模改修事業などの実施により、30・0割の大幅増となりました。(4億400万円)

●公債費

地方債の償還に充てるもので、償還額の増により、1・7割増となりました。(3億7,700万円)

【問合せ】

総務課 (42) 3963

第16回 全国棚田（千枚田）サミット
 「棚田が結ぶ、ふるさとの絆 ～みんなで創ろう！百笑の里～」
ひやくしょう

【1日目】 10月22日(金)

9:00～ 全国棚田(千枚田)連絡協議会
 理事会・総会
 12:30～ 開会式
 13:00～ 基調講演
 静岡県知事 川勝平太氏
 (予定)
 14:00～ 事例発表
 15:00～ 分科会・首長会議
 第1～第4分科会
 18:00～ 全体交流会

【2日目】 10月23日(土)

8:30～ 棚田見学会
 11:30～ 移動・昼食
 13:00～ 分科会まとめ
 13:45～ 閉会式

各会場

【1日目】

メインー松崎高等学校新体育館
 分科会ー松崎高等学校旧体育館・
 龍門館・松崎中学校体育館・
 環境センター文化ホール

【2日目】

午 後ー環境センター文化ホール



棚田サミット便り 第2号

第16回全国棚田(千枚田)サミット
 テーマとスネジユール決定

第16回全国棚田（千枚田）

サミットでは、「棚田が結ぶ、ふるさとの絆」をテーマに、松崎町から全国各地の参加者にメッセージを発信します。

テーマの「結ぶ」には、昔から近所や親せきなどで、互いに労働力を提供し合い、協力して農作業を行う「結い（ゆい）」という相互扶助の精神や、地域のつながりの再構築の思いが込められています。

テーマを通して、棚田を守り、育てていく意義を多くの皆様が認識し、新たな結いやその心・絆を深め、「百笑の里」に込められた棚田に携わる人たちに笑顔が生まれる里づくりを提唱していきます。

棚田サミットは基調講演、分科会、全体交流会、見学会など上記のとおり2日間の日程で開催されます。町民の皆様も参加できますので、この機会に棚田保全活動への理解を深めてください。

静岡県内初

「第7回オーライ！ニッポン大賞」受賞

石部地区棚田保全推進委員会

「オーライ！ニッポン大賞」

とは、都市と農山漁村の交流を盛んにする活動に積極的に取り組んでいる団体、個人を表彰するもので、オーライ！ニッポン会議、農林水産省などが主催しています。

今回、石部地区棚田保全推進委員会の取り組みが全国93件の応募のなかから、グランプリ（内閣総理大臣賞）に次ぐ大賞となり、東京で表彰式が行われました。

受賞理由は、荒廃した棚田を手作業で復旧し、「棚田オーナー制度」や県の「一社一村しずおか運動」により、オーナー、企業、大学、ボランティア団体など年間約2,000人が棚田を訪れ、交流を図っていること。また、商工会や酒販組合などと連携した商品開発や棚田イベントによる集客効果など、手作業による棚田保全活動を通じて、取り組みに広がりがある点が評価さ

れたことです。

これからも活動を深め、全国に誇るべき石部の棚田を守り、育てていきましょう！



→オーライ！ニッポン会議
 養老孟司代表より表彰を受ける
 推進委員会委員長

(3月10日)

【問合せ】

企画観光課 (42) 3964

国民健康保険 こんなときは手続きを

毎年4月は、仕事の転勤などによる転入・転出や、就職・退職など、新しい生活を始める方が多い時期です。

次のような場合には、届け出が必要です。手続きは異動があつてから14日以内にしてください。

- 国保に加入するとき**
 - ・他市区町村から転入してきたとき
 - ・子どもが生まれたとき
 - ・職場の健康保険をやめたとき
- 国保をやめるとき**
 - ・他市区町村へ転出したとき
 - ・死亡したとき
 - ・職場の健康保険に加入したとき

- その他**
 - ・住所、世帯主、氏名などが変わったとき
 - ・修学のため、別に住所を定めるとき

※加入の届け出が遅れた場合でも、保険に加入する資格を得た日からの保険税を納めていただくこととなります。

○ご注意ください

- ・保険証がないまま医療機関を受診した場合、医療費は全額自己負担となります。
- ・職場の健康保険などに加入しながら、国保の保険証で受診してしまった場合、国保で負担した医療費を返していたことになるため、加入している保険が変わった時は、受診するときに、必ず医療機関の窓口で保険証を提示してください。

○リストラ等による失業者の国民健康保険税の軽減措置

平成22年4月から次のような場合には、国民健康保険税が軽減されます。

- ・雇用保険の特定受給資格者（倒産、解雇（リストラ）などによる離職）
 - ・雇用保険の特定理由離職者（雇止め（派遣切り）等による離職）として失業等給付を受ける方
- 対象となる方は、雇用保険受給資格者証を持参のうえ、国保窓口にお問合せください。

【問合せ】

健康福祉課（42） 3966

後期高齢者医療の保険料改定について

○平成22年度後期高齢者医療保険料率の改定について

後期高齢者医療の保険料率は、均等割と所得割によつて算定されます。この保険料率は、医療費や現役世代との人数のバランスなどを考慮し、2年に1度改定されることとされています。

平成22年度の保険料率は次表の通り改定されることとなりました。

	平成21年度	平成22年度
均等割額	36,000円	36,400円 (400円上昇)
所得割額	6.84%	7.11% (0.27%上昇)

○年間保険料額は次表の通りになります。

（単身世帯で収入が年金のみの場合のモデルケース）

年金収入額（年額）	平成21年度	平成22年度
基礎年金受給者(80万円)	3,600円	※3,600円
月額12.7万円程度の年金受給者(153万円)	5,400円	※5,400円
平均的な厚生年金受給者(201万円)	45,200円	46,100円
月額26.6万円程度の年金受給者(320万円)	150,200円	155,100円

※低所得者の方に対する保険料軽減の関係で、保険料の上昇はありません。

松崎町消防団ポンプ車引渡式

松崎町消防団第1分団第1小隊と同第3小隊の消防ポンプ自動車が、老朽化のため更新されました。

3月25日（木）、松崎町役場庁舎前で、消防ポンプ自動車引渡式が行われました。

式典では、齋藤町長から内田団長に鍵の引き渡しが行われ、引き続き内田団長から第1分団長に鍵が引き渡されました。

引渡し式終了後、松崎海岸に設置している貯水槽から配備されたばかりのポンプ車に補水され、業者から第1分団員に操作説明が行われました。



新ポンプ車を操作する第1分団員

【問合せ】

総務課（42） 3963

東海地震に備える！

一般住宅の耐震補強工事の補助制度が拡充されます

松崎町では、発生が予想される東海地震から一人でも多くの生命を守るため、平成13年度から静岡県と協力してT O U K A I（倒壊）10事業を推進しています。

この事業は、昭和56年5月以前の旧建築基準法に基づいて建築された木造住宅の耐震診断、補強計画の作成、耐震補強工事について、工程ごとに補助制度を設けています。

わが家の専門家診断

町が専門家（静岡県耐震診断補強相談士）を派遣し、耐震診断を行います。診断後に、住宅の耐震性を説明するとともに、一般的な相談にも応じます。

（お電話で申し込み、無料で耐震診断を受けられます。）

補強計画の作成

診断の結果「危険」と判断された場合、安全な家にするため、補強計画を策定します。

町では、補強計画策定費用を、一棟あたり96,000円

（実費の2/3以内）を上限に補助をしています。

費用は、規模によって異なりますが、およそ15万円から17万円程度です。

耐震補強工事

補強計画に基づいた工事について、左図のとおり補助制度が拡充されます。さらに、税金（所得税、固定資産税）の優遇措置も受けられますので、積極的にご利用ください。

	一般世帯	高齢者世帯※
これまで	30万円	50万円
平成22年4月1日から	60万円	80万円

※高齢者世帯：世帯員全員が65歳以上の世帯

【問合せ】
産業建設課（42）3965

峰輪区公民館落成



峰輪区新公民館

2月21日（日）、峰輪区では、新公民館の落成式が行なわれ、区民や来賓など約80人が出席しました。

峰輪区では、築60年以上が経過し、老朽化した旧公民館の建て替えが望まれていました。

建築にあたっては、区民の積立金をはじめ、財団法人静岡県市町村振興協会や町からの補助金を活用して建てられました。

新公民館は、木造平屋建てで、高齢者や身体障害者の利用に配慮したユニバーサルデザインになっています。

【問合せ】
企画観光課（42）3964

松崎文芸

— 短歌 —

地球儀をありがたうと言ふ九歳の
未来の広がれ世界の広がれ
草引くを天性だとは思はねど
ひとりの世界にこころ遊ばず
人恋しくなりたるやうな山茶花の
散りしく庭を今朝も見て過ぐ
帰り来てオクターブ高き娘の声に
部屋の中の流れのかはる
野うさぎとなりて駆けだすふかふかに
落ち葉のつもるあかるい森を
木をけづる音とにほひに歩を止めつ
父へのおもひのにはかに湧きて
ピラカンサの剪定したり師走にて
実を切らぬやう慈しみながら
せせらぎの音を聞きつつ溪谷を
行く名曲にいやされるごと

岡村芳子
山本智恵子
堀岡洋子
高橋栄美
高橋百代
細田光代
土屋君子
平野もみ子

町職員の退職・採用

《退職》3月31日付け
出納室管財係長 佐藤 勝子
教育委員会共同調理場主任給食調理員 大和 みち子
生活環境課公営企業室水道技術管理者 松本 文男
窓口税務課戸籍窓口係長 鈴木 まさよ

《採用》4月1日付け
野 田 菊池 宏明
（窓口税務課）
宮 内 松本 真樹
（健康福祉課）
南 区 依田 沙由美
（松崎幼稚園）
江 奈 飯田 聖
（総務課）

～ まちのできごと ～



3/1～7 春の全国火災予防運動

春の全国火災予防運動期間中、各地区で消火栓を使用した初期消火訓練が行われました。参加者たちは、訓練を通じ、防災意識を高めました。



3/3 春の訪れを告げる「ひじき」刈り

石部地区では、地域の住民約50人が、干潮時に岩場へ集まり、長さ30～40センチに成長した茶褐色のひじきをかまで刈り取りました。



3/14 第27回芸術祭芸能部門発表会

環境センター文化ホールでは、毎年恒例の芸術祭が行われ、各団体が、器楽や舞踊、合唱など日ごろの文化芸能活動の成果を披露しました。



3/23 中川小学校閉校式

来年度から松崎小学校と統合する中川小学校で閉校式が行われ、創立136年の長きにわたる歴史に幕を閉じました。

棚田サミットへ向けて

石部の棚田は、平成14年からオーナー制度を導入し、都市住民との田植えや稲刈り等の作業を通じた交流により、保全されてきました。

また、県が推進する「一村一社一社一社しずおか運動」により、大手医薬品メーカーのアストラゼネカ株式会社と富士常葉大学の学生たちが年に数回、草刈りや田おとし等の作業を手伝いに棚田を訪れてくれています。

しかしながら、棚田保存会のメンバーも高齢化し、あと何年もしないうちに、この富士山を望む優れた景観を持つ棚田が維持できなくなるのではないかと危惧されています。

棚田に限らず、私たちは、先人が築き上げた資源を財産として、後世へ引き継ぐ義務があります。10月22日(金)、23日(土)には、石部の棚田を中心に

に「第16回全国棚田(千枚田)サミット」が開催されます。

このサミットは、全国各地で「地域の宝である棚田を未来に残したい」と活動を続けている方が一堂に会し、意見交換を行う場です。町民の皆様も棚田サミットを機会に、町の自然や文化、歴史に対する認識を深め、保全、活用のきっかけにしたいと思っています。

町長室からこんにちは ④



松崎町長
齋藤 文彦

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成22年2月28日現在)
()内は前月比

総人口	8,079人	(- 5人)
男	3,823人	(+ 1人)
女	4,256人	(- 6人)
世帯数	3,159戸	(+ 2戸)
転入	6人	転出 8人
出生	3人	死亡 6人

町の交通事故

平成22年2月28日現在
()内は前年同月比

人身事故	1件	(- 3)
物損事故	7件	(- 1)
死者	0人	(± 0)
傷者	1人	(- 4)

戸籍だより (2月届出分)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈4	藤井初雄	86	初
江奈2	稲葉ツナ子	86	聡
八木山	田口干城	92	公夫
江奈2	内田つね子	78	勝彦
江奈2	土肥ミヨ	97	富雄
山口	佐藤よ志	81	八恵子

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
江奈2	蒼太	男	関洋介
明伏	けい慧	男	高橋潤
櫻田	まさなり成	男	道本慶大



※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

休養をとりましょ

疲れた時にゆっくり休むことは、体だけでなく心の健康のためにも必要なことです。

毎日の生活の中で、ゆったりした時間を持つためのポイントとして、次のようなことがあげられます。

まず、家事や仕事の合間に、ストレッチや、短い休憩を取るなどして、こまめにリフレッシュすることが大切です。それによって、その後の作業効率を高めることにもなります。

また、どこでもすぐにリラックスできる方法として、腹式呼吸がお勧めです。お腹に手をあて、口から全て息を吐き出しながらお腹をへこませ、次に鼻から息を吸いながら、お腹を膨らませます。息を吐くことに意識を集中しながら行うとよいでしょう。

最近疲れているなど感じたら、少し早めに休養することも大切です。毎日時間に追われていると、気づかないうちに疲労が蓄積してしまいます。意識して、睡眠時間を確保する、休暇を取るなど、翌日に疲労を持ち越さないよう早めに対応することが重要です。休養を上手に取り入れることで、体と心にエネルギーを蓄えましょ。

地域交流通信

松本市安曇地区から

冬の上高地

松崎町の皆様、日頃は松本市営上高地アルペンホテル・徳沢ロッジ・上高地食堂をご愛顧賜りまして、誠にありがとうございます。

上高地は、日本の屋根と称された北アルプスの麓、別名『神降地』の名に相応しく、『精霊宿る神秘の地』として、今なお年間約百三十万人の方がこの地を訪れ、それぞれ思いのスタイルで、上高地ライフを楽しんでおられます。

普段は大勢の行楽客で賑わう上高地も、十一月の閉山祭の頃を迎えると、様相は一変します。長い冬の始まりを敏感に察知した小動物達は、いそいそと身支度を整え、厳しい冬に備えます。アルプスから吹き下ろす猛烈な吹雪は、やがて白銀の世界へと誘い、上高地は半年間の眠りに就き

ます。

安曇支所観光課では、月に二度、上高地の巡視を行っており、時折見せる静寂の風景に、暫し魅了されることもあります。

上高地も、もうすぐ目覚めの時を迎えます。

どうぞ春光眩い上高地へ。皆様方のお越しを心よりお待ちしております。

(上高地アルペンホテル 支配人 坂上暢慶)



大正池から望む穂高連峰